



# 中之島だより

令和2年10月号

和歌山市立中之島小学校



## とても大切なこと

【校長 太田 謙二】

2学期がスタートして、早くも1か月半が過ぎました。先月初旬ごろの暑さがうそのように、朝晩は涼しくなり、めっきりと秋めいてきました。先日は、本校の運動会に来ていただき、誠にありがとうございました。素晴らしい秋晴れの下予定どおり実施でき、子供たちの一生懸命な姿を見ていただけたことを大変うれしく思っています。

運動会の開会式でお話しさせていただきましたが、新型コロナウイルスのため、一時は運動会を実施できないかなと思っていました。でも、保護者の皆さまのご理解、ご協力のおかげで無事に運動会ができましたこと、大変感謝申し上げます。来年の運動会は、新型コロナウイルスが収束し、地域の皆さまを含め、たくさんの人に来ていただけることを願っています。

さて、最近子供たちの様子で、特にうれしいことをお伝えします。2学期の始業式で子供たちに話をした「あいさつ」のことです。登校時や下校時に正門でいると、「おはようございます」「さようなら」とあいさつしてくれる子が以前より多くなりました。声も大きくなってきました。また、自分から先に元気よくあいさつしてくれる子もずいぶん増えました。目を合わせ、元気よくあいさつが交わせるとお互いの距離が縮まった感じで、なんだかとてもいい気持ちです。

ちょっとしたことですが、とても大切なことだと思います。朝と帰りのあいさつだけではなく、「ありがとう」や「いただきます」など、あらゆる場面で素敵なあいさつが広がると、もっともっとすばらしい『中之島小学校』になると思います。

運動会も終わりましたが、これから、まだまだ行事もたくさんあります。季節的に過ごしやすい時期なので、しっかりと勉強やスポーツに取り組んでいって欲しいと思います。

保護者の皆さま、地域の皆さま、子供たちが、落ち着いて充実した学校生活を送ることができるよう、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



